



申込みや出前講座の詳細はこちら

JICA国際協力出前講座 新春号企画！ ～出前講座、依頼してみてもいいか？～

JICA海外協力隊やJICA職員などから、国際協力における現場経験の話が聞ける「国際協力出前講座」。本号では実際に依頼してみた感想を聞きました！



金沢市立千坂小学校の場合

アパレル企業が実施している「届けよう、服のチカラ」プロジェクトに参加する千坂小学校では、着られなくなった古着を、世界の難民へ寄付するという取り組みをされています。「寄付をした」という体験だけで終わらずに、子どもたちにはこの取り組みをきっかけに、「難民」についてもっと知ってもらいたいという想いから、依頼いただきました。



4年生担当教諭
舟木 慎治 先生
総合的な学習の時間で実施

出前講座までに子どもたちは本やインターネットを用いて難民について調べていました。その時は「大変な暮らし」ということを漠然と感じていたように思います。しかし、中田さんの実体験を通して学ぶ中で「飲む水も安全ではないんだ」など具体的な理解につながっていました。子どもたちにとって大変貴重な体験になりました。



生徒さんの感想

私は何も考えずに服を集めていたからくわしく知ることができてよかった。



オンライン出前講座の様子

福井市環境推進会議の場合

福井市が開催した一般向けの環境問題を考えるワークショップ「世界を旅するエコトリッパー」では、JICA 海外協力隊の体験を元に、世界の環境問題や隊員活動を学びました。講座の後、参加者は質問をしながら講師の話や取り組みを紹介するパネルを作成し、隣接された JICA ブースにて展示されました。



福井市市民生活部環境政策課
野内 未来さん
福井国際フェスティバル2021で一般向けワークショップとして実施

コロナ禍で海外に行くのが難しい中、現地の環境についてお話しただけの方を探すにあたり、環境教育に携わっていた JICA 経験者の方がぴったりだと思い、依頼しました。今回は青年向けの講座であり、参加者と同世代である講師の方に講義をしてもらったことで、環境についてより深く考えられる機会を提供することができました。



参加した方の感想

現地の体験でリアルな話を聞けるのは、自分も子供たちも意識が変わると思います。



質問する参加者と伊藤さん

お話ししてくれたJICA海外協力隊OV

派遣国
ウガンダ



中田 早紀さん 職種：コミュニティー開発
(活動期間：2019年1月～2020年8月)

中田さんのウガンダでの様子はこちら



小学4年生の子どもたちが難民についてのくわい理解できるのだろうと探り探りでしたが、どのクラスも盛り上がっていました。協力隊の活動紹介では使わない、風景や子どもたちの映像を用意しましたが、「牛はペットとして飼っているの?」「肌の色はどうして違うの?」など興味深い質問が飛んで来て、私にとっても刺激となりました。

お話ししてくれたJICA海外協力隊OV

派遣国
コスタリカ



伊藤 きららさん 職種：環境教育
(活動期間：2019年4月～2020年7月)

Hola, ¿Cómo están? 「JICA 海外協力隊の活動に興味がある」、「環境問題に取り組みたい」、「海外で働きたい」等、様々な思いを抱いた方々にコスタリカのエコ事情、環境問題についてお話しさせていただきました。ただ「知りたい、興味がある」だけで終わらせず、「やってみよう!」と一歩踏み出すきっかけになっていただけたら幸いです。

JICA海外協力隊OBに聞く！ 帰国後の活躍！！



加藤 泰紀(かとう たいき)さん (富山県在住)
派遣国：ネパール/職種：体育



ダルバール広場(世界遺産)で体操祭を開催！
25校3,000名が参加してくれました！



Q 1. JICA 海外協力隊員時代の活動について教えてください

エベレストを擁するヒマラヤ山脈の国ネパールで一般体操の普及活動を行いました。ネパール全域を対象に子どもから高齢者まで幅広い世代の人々とともに健康のための体操をしながら、指導者育成にも注力しました。現在では首都カトマンドゥを中心に多くの学校が体操に励んでいます。

Q 2. 帰国後の進路を考え始めたのはいつごろで、どんな準備をしましたか

大学生の頃から教員を志していましたが、新卒で何の経験もなく教壇にたつことはできないと感じ、以前から興味があったJICA海外協力隊に応募しました。派遣中は帰国後のことは全く考えておらず、日々のネパールライフに没頭していました。それが今の教員人生に生きています。協力隊としての活動中に次のキャリアを考えて準備するほど器用ではないので、帰国後に気持ちを切り替えて1年間仕事をしながら教員採用試験の勉強をしました。



組体操を指導中の様子



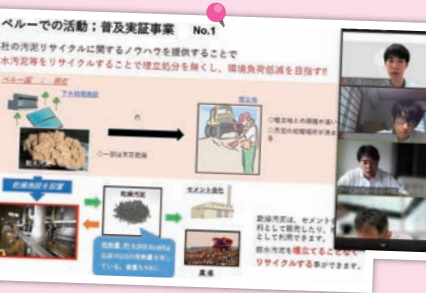
小学校の生徒たちと加藤さん(手前右)

Q 3. 協力隊員としての経験を現在のお仕事に、どのように還元していますか

現在は富山県高岡市の中学校で保健体育の教員として勤務しています。国際貢献経験者枠で採用して頂いたので、勤務校だけではなく県内の小学校や高校に向向いてネパールの話や国際理解について出前授業を行っています。教員としてはまだまだですが、富山県の子供達に少しでも海外に興味を持ってもらえるよう日々奮闘しています！

オンライングローバルキャンパス ～北陸発の国際協力を知ろう～を実施しました！！

2021年9月から12月にかけて高校生・大学生を対象とした国際協力入門セミナー「オンライングローバルキャンパス」(全4回)を開催しました。各回のテーマに合わせて、元国連職員や途上国で活動している民間企業、地方自治体関係者などをゲストスピーカーに招き、途上国への活動やその目的、また活動から得た学びなどについて話していただきました。民間企業の海外での取り組みを聞いた学生からは、「北陸の技術で途上国に進出しようとしている企業があることを知り、市場の変化と国際協力の在り方が多様になっていると感じた」と振り返り、富山市が行っている途上国への国際連携事業を聞いた学生からは「地域の課題と発展途上国の課題を共有して一緒に双方の課題解決に取り組んでいるのが素晴らしいと思いました」といった感想をいただきました。参加者は新たな知識や考えが芽生えただけではなく自分の目指すべき道が見えたようで、セミナーの前後で顔つきも変わったように感じました。今回のセミナーで得た学びがグローバルに活躍できる人材へのきっかけになればと願っています。



▲第2回 (株)アース・コーポレーションのペルーでの事業について紹介している様子

▲第3回 富山市が途上国に行っている活動について説明している様子



中小企業・SDGsビジネス支援事業の採択案件決定！



福井県環境保全協業組合(福井市)が、JICA中小企業・SDGsビジネス支援事業(2021年度第1回)に応募提案した事業が採択となりました。日本の中規模地区での浄化槽管理、設備の設計や運営経験を活かし、タイの地方都市において、低コストの汚水処理の仕組み(日本型集落排水システム)導入の実現可能性を調査します。人口増加や経済発展により急速に都市化が進行する地域では、様々なインフラ整備が追い付いていません。本事業を通じて、タイの地方都市での生活排水による環境悪化の改善への貢献を目指します。



▲最終沈殿槽



▲集排施設の維持管理の様子(写真は水中の溶存酸素量測定)

